

平成25年度第18回教育研究評議会議事要旨

日 時 平成26年1月23日(木) 10時30分開会
12時55分閉会

場 所 事務局第1、第2会議室

欠席者 蛭田副学長

○議題等

1 教員選考(採用人事)について

学長から、資料2に基づき、平成26年4月1日付け採用予定の候補者について、本学教員選考規則第18条の規定に基づき、投票による選考を行う旨の説明があった。引き続き、各選考委員会委員長から、選考結果報告書(回収資料)に基づき、候補者の説明があり、投票の結果、候補者2名を承認した。今後、同選考規則第18条の規定に基づき、役員面接により、選考することとした。

2 人事交流計画委員会委員の構成について

学長から、第15回教育研究評議会(平成25年11月28日開催)で承認された北海道教育委員会からの人事交流教員の任期満了に伴う後任人事の計画について、「教育委員会との人事交流による教員の選考等に関する要項」に基づき、人事交流計画委員会を設置する旨説明があり、これを承認した。

3 特任教員採用計画について

学長から、資料3に基づき、特任教員I種の採用計画について、合計6件(札幌校1件、函館校3件、旭川校1件、学校臨床心理専攻1件)の申請があった旨説明があり、これを承認した。

4 第2期中期目標・中期計画の変更について

学長及び石川理事から、資料4に基づき、ミッションの再定義等に伴う本学の中期目標・中期計画の変更について説明があり、審議の結果、案として本案を文部科学省に提出することを承認した。

なお、各評議員から、中期計画に新たに加えた事項(学長のリーダーシップ、大学のガバナンス体制、教員養成課程の改革等)について次の意見が出された。

- ・大学の在り方が社会から問われており、これまでの本学の取組・成果から、学長のリーダーシップ及び本学のガバナンスについて、振り返る必要があるのではないか。
- ・教員養成課程の学生に実践的な指導力を修得させるための取り組みについて、本学の現状や学校現場を十分に考慮し、実態に合わせて検討していく必要があるのではないか。

実施においては、本学の特色を生かすと共に、社会及び地域からの期待に十分に応えることができるものとするよう丁寧な議論を行うこととした。

また、学長から、文部科学省との協議の結果、本案に変更が生じた場合には、臨時で教育研究評議会を開催することとなる旨発言があった。

5 北海道教育大学教員養成改革の基本方針(案)について

蛇穴理事から、資料5に基づき、各キャンパスからの意見を踏まえ、必要な修正を行った教員養成改革の基本方針(案)について説明があり、第2期中期計画・中期目標の変更等に合わせて字句等を一部修正の上、これを承認した。

なお、各項目の実施については、今後、十分丁寧な議論を行っていくこととした。

6 グローバル教員養成プログラムについて

佐藤副学長から、資料6に基づき、グローバル教員養成プログラム（平成27年度より実施）について説明があり、これを承認した。

関連して、学長から、今後、学生の英語力向上を図るために必要な予算要求をしていく旨発言があった。

○報告事項

1 役員面接の結果について

学長から、第16回教育研究評議会（平成25年12月19日開催）において選考を行った10名の候補者について、平成26年1月7日に役員面接を実施し、面接の結果、候補者全員の選考を決定した旨の報告があった。

2 センター員の兼務について

学長から、資料7に基づき、教員養成開発連携センター員の兼務について、報告があった。

3 平成26年度大学院教育学研究科（後期募集）の入学志願者数について

城後理事から、資料8に基づき、平成26年度の大学院教育学研究科の後期募集における入学志願者数について、報告があった。

4 セントメリーズ大学（カナダ、ハリファックス）の協定覚書について

佐藤副学長から、資料9に基づき、セントメリーズ大学との協定覚書の更新について、報告があった。

5 平成24年度決算検査報告説明会（会計検査院）について

石川理事から、資料10に基づき、監事及び予算執行担当役員を対象に行われた説明会の概要について、報告があった。

以 上